



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

第72回コロイドおよび 界面化学討論会へのお誘い

はじめに

第72回コロイドおよび界面化学討論会は、2021年9月15日(水)～17日(金)の日程で開催されます。この原稿を書いている3月末の時点では、広島大学・東広島キャンパスでの開催として計画しておりますが、新型コロナウイルス感染症に係る状況により、オンライン開催(広島大学での開催は2022年度に延期)となる可能性があります。

討論会の講演要旨集の最後に載っている討論会の記録によると、昭和34(1959)年に広島大理で第12回の討論会が開催されたとあります。今回の討論会が現地開催となると、実に62年ぶりに、討論会を広島の地にお迎えすることになります。このコロナ禍で先が読めない状況が続いておりますが、現地開催とオンライン開催のどちらになっても、参加される皆様にとって有意義な討論会となるよう準備を進めていきたいと思っております。

主題:「異分野融合・学際領域として 拡がるコロイド・界面科学」

コロイド・界面化学は、洗剤や化粧品、食品、医薬品、電子材料など、私たちの身の回りの多くの製品に関わっており、健康で豊かな生活を送るためには欠かせない学問です。一方、ナノ科学や生体現象、環境浄化、触媒、エネルギー材料など、最先端の科学や人類が直面している課題の解決などにも重要な役割を果たしています。コロイド・界面化学は、元来、非常に学際的な学問分野ですが、

今後は積極的な異分野融合により解決策を見いだそうとする研究展開がますます重要になるものと考えられます。そこで本討論会では、コロイド界面化学の学術的特徴の再認識とさらなる発展を期待し「異分野融合・学際領域として拡がるコロイド・界面科学」を主題として実施いたします。

討論会の概要

一般研究発表は例年どおり、分子集合体の科学と技術、組織化膜の科学と技術、微粒子とその分散系の科学、微粒子とその分散系の技術と応用、固体表面・界面の科学と応用、応用・開発セッション、そしてそれらの分類にとらわれない総合セッションの構成です。また、コロイド・界面化学における最新のトピックや学際的・複合的な新領域に係る新規テーマなどについて討論し、周辺分野の研究者との交流をより活発にするために、一般シンポジウムも実施します。さらに、国際的な交流の場として国際シンポジウムも予定しています。現地開催が可能であれば、教室当たりの人数の制限をはじめとした新型コロナウイルス感染防止のための対策をとった上で、口頭発表とポスター発表を実施いたします。一方、オンライン開催となった場合には、Web会議システムを用いた発表とします。また、現地開催とオンライン開催のいずれの場合でも、学生や若手研究者に対する賞を設定します。

本討論会の特徴的な企画の1つである総合講演とLectureship Award受賞講演

は、現地開催であれば、9月16日(木)の午後に東広島キャンパスのサタケメモリアルホールで行われます。総合講演では、広島大学大学院統合生命科学研究科の上野聡教授ほか、1名の先生にご講演をいただく予定です。また、令和3年度のLectureship Award受賞者であるJérôme F. L. Duval博士(フランス LIEC)とFrank Caruso教授(オーストラリアメルボルン大学)、および科学奨励賞を受賞される天野健一准教授(名城大学農学部)と技術奨励賞の受賞者の杉山由紀氏((株)資生堂アドバンストリサーチセンター)の受賞講演も企画しております。なお、オンライン開催の場合は、予定の一部を変更してライブ配信、あるいは講演は来年度に実施するとして今回はメッセージ配信となる可能性があります。

おわりに

討論会の詳細と最新情報については、ホームページで随時お知らせしていきますのでご確認下さい。また、広告・オンライン企業展示も募集中です。

<https://confit.atlas.jp/guide/event/colloid2021/top>

発表申込・要旨原稿提出の締切は、6月中～下旬を予定しています。部会員以外の方もこの機会に研究の発表をぜひご検討下さい。

【実行委員長 ヴィレヌーヴ真澄美
(広島大学大学院統合生命科学研究科),
討論会委員長 飯村兼一
(宇都宮大学工学部)】

© 2021 The Chemical Society of Japan